



KSKQ

# 萌風香

2020年度 春号

誰もが生き活きと  
自分らしく暮らせる  
心豊かな社会を  
創造します。

社会福祉法人萌 広報紙 NO.68. 2020.4.17 編集人 社会福祉法人萌 定価 150円

〒630-0256 奈良県生駒市本町7-14 ブルームビル2階 ひだまり内 TEL 0743-85-4196

## 「えいぶる」新天地で活動をスタート！

いつか喫茶を！



まちに馴染む外観

えいぶる(大和高田市)は、2020年4月1日から新しい施設で活動しています！

無事に竣工・移転することができ、地域の皆様、関係各位にあらためて感謝いたします。

製菓、喫茶……挑戦したいことはたくさんあります。いっぱい夢を詰め込んだ新施設。まずは環境に慣れることから。えいぶるらしく、ゆったりと進んでいきます。



■えいぶる 新所在地 〒634-0087 奈良県大和高田市内本町2-12 ※電話番号、メールアドレスは変更ありません。

## 萌・第3期中期計画 実現に向けた1年に！

2020年度は中期計画の最終年にあたります。3つの計画に沿って、以下のことに取り組みます。

- ① 精神科病院に入院している人が退院して地域で望む生活を送れるように、コーディネーターを置きます。病院に出向き、面会や交流会などを行い、「地域の風」を届けます。  
そして、退院後の生活に必要なものや人について考え、地域の体制として作っていきます。その中で一緒に支援や活動する当事者を雇用します。
- ② 地域とのつながりを強めるため、イベントや啓発活動を続けていきます。
- ③ 高齢などにより在宅での生活を余儀なくされた人の生活の場に出向きます。そして、その人が望む生活に必要なことを一緒に考え整えていきます。

### 【お知らせ】 新型コロナウイルス感染症 対策について

萌では、このたびの感染症対策として、職員のマスクの着用、健康チェック、手洗いや施設の消毒の励行、大人数での活動の延期などを実施しております。

ご不便をおかけいたしますが、ご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

詳しくは萌ホームページ「<http://www.moe.or.jp/>」に記載しております。

### 四徒 季然

社会福祉法人萌  
理事長 吉川郁子

兵庫県の精神科病院で、看護師と看護助手が入院中の患者に暴行や監禁などの虐待を行い逮捕されていたことが、3月4日の朝日新聞で報じられました。

トイレで裸で椅子に座らせホースやバケツで水を浴びせたり、男性患者に無理やり性的な行為をさせたりといった動画が残っていました。被害者3人はいずれも重度の精神疾患で、抵抗できない状態だったということです。

強い憤りと同時に、病院という閉ざされた空間で、日常的に虐待が行われていたことが恐ろしくもあります。

「またか」と思うことに問題の根深さを感じます。安心して治療を受けられるはずの病院で、程度の差こそあれこのような事が繰り返されていることが、日本の精神医療の実態なのです。

## 生駒エリア

生活支援センターコスモールいこま 0743-73-7000 地域活動支援センターコスモールいこま 0743-73-0900

ひだまり 0743-85-4196 コミュニティスペースはなな 0743-73-1050

### 高齢になってからの生活って どんな感じ？

自身が高齢になった時に住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための取り組みのひとつとして昨年10月、介護保険課の職員による「介護保険の利用方法」や「利用できるサービス」についての勉強会を実施しました。

質問もたくさん出て、時間が足りないほどの会でした。振り返りをしたところ、「制度の内容や流れはわかったけど、イメージがなかなかつかない」という意見がありました。

そこで、具体的なイメージをつけるために、生駒市内にある高齢者介護施設を2カ所見学しました。



初めての介護施設にみんなドキドキ

参加者からは「楽しそうに体操していたり、部屋もきれいだったので印象が変わった。」「外出できると聞いて気持ちが前向きになった。」等の声がありました。

実際に目で見て知ることができ、どんな生活をしたいか等、具体的に考えることができた実感しています。これからも見学会や勉強会などの取り組みを続けていき、高齢になってからの生活について考えていきたいと思えます。

見学させて下さった、社会福祉法人長命荘の皆様、社会福祉法人晋栄福祉会の皆様、ありがとうございました！

### 毎年、開催。家族懇談会！！

萌全体と各施設の情報を正しく伝えるために家族懇談会を実施しています。今年度は施設の取り組みを知ってもらおうと施設ごとに開催しました。地域活動支援センターコスモールいこまは6人、ひだまりは3人、コミュニティスペースはななは4人の利用者家族の参加がありました。

なかには毎回参加していただいている家族の方もおられます。作業風景の映像鑑賞や日々の活動や今後の目標などを報告。施設として何を大切にしているのかをお伝えし、家族同士の交流も行いました。

家族の参加者からは「事業所の活動を知れてよかった」「子どもはいろいろできないと思っていたけど、施設での頑張っている姿が聞いてよかった」「他の家族の方の話が聞いて良かった」との声がありました。

懇談会は日頃の活動を伝えるだけではなく、それぞれのご家庭のことを話してもらい、家族同士の交流の機会にもなっています。施設側としても、家族の想いを聴く貴重な機会になっています。

### 引き出物は「はなな製菓詰合せ」

緑綬褒章を受章された西谷光子さんのお祝い会が2月11日に開催され、参加者への引き出物に、はななの製菓詰合せをご注文いただきました。

70個という大量生産に、忙しい日々でしたが、おめでたいことに関わらせていただいて、こ



いつもとは違う詰合せ

ちらまで幸せな気分になりました。

## 郡山エリア

生活支援わがふらっと	0743-54-8112	地域活動支援わがふらっと	0743-54-3977
ふれあい工房	0743-54-6701	彩食キッチンBon	0743-58-5572
Bon Café	0743-55-7772		

## 地域の商店街で職場見学会

### ～まちで取り組む就労支援～

柳町商店街の協力のもと 2 月 28 日に職場見学会を行い、就職を目指している 5 名の利用者が参加しました。

見学に訪問したのは、大門湯、鶴田昆布店、本家菊屋の 3 店舗です。参加者は、事前勉強会で確認したマナーや相手に関心を持つことを心がけて説明に耳を傾け、積極的に質問していました。



左が菊屋のご主人

各店舗で「働く上で大切にしていること」を尋ねたところ、共通していたのは「お客様によるこんでもらうこと」でした。

どんなに些細なことでも地道な作業であっても、お客様のことを第一に考える姿勢の大切さを実感しました。

参加者はそれぞれに「まずは今の作業に慣れることから」、「苦手なことに取り組もう」と就職への気持ちを新たにしていました。

これまで郡山エリアでは、柳町商店街の一員として様々な催しにかかわってきました。「この地域の方々とともに障害のある方の就労を後押しできたら」という思いが今回の職場見学会のきっかけです。

障害のあるなしにかかわらず、多様な人たちが結びつく中で相手への理解が生まれます。そうして互いを知っていくことは、だれもが暮らしやすい・働きやすい街づくりの第一歩です。これからも地域の方々とともに取り組んでいきたいと思ひます。

## 居住支援の普及に必要なもの

「居住支援セミナー」を大和郡山市市民交流館で 2 月 25 日に開催しました。(主催「(社福) 萌」/共催「(社福) 寧楽ゆいの会」「NPO 法人ふぁーちえ」「奈良県精神障害者居住支援ネットワーク」)

講師に「NPO 法人やどかりサポート鹿児島」の芝田淳代表理事を招き、「誰もが安心して住まい続けられるために～あるべき居住支援の構築に向けて～」と題して講演を行いました。

ホームレスの方の住まい探しや家賃債務保証等の支援を行う中での気づきや苦労、行政とも話し合いを行える居住支援協議会の重要性。「居住支援」には住まうための支援(入居支援)と、住まい続けられるための支援(居住生活支援)の両輪が必要であること。

最後には「居住支援を進めるためには多くの人とネットワークをつくって進めていくことが大事。そのためには支援者自身が他分野の専門職との異文化を面白がれる心を持つことが必要」とのメッセージもありました。

奈良県下の精神保健福祉士、司法書士、行政書士、不動産業者、行政職員など約 35 人が参加しました。



他分野・異文化をつなぐ遊び心

小グループでの意見交換も行われ、奈良県下でも少しずつ「居住支援」の輪が広がり始めています。

## 助成のお礼とご報告

浄土真宗本願寺派奈良教区から「配達用の厚手ジャンパー」の助成を受けました。彩食キッチンBonで行う高齢者配食の際に大活躍です。「あったかい」気持ちとともにお弁当を届けます。浄土真宗本願寺派奈良教区様、本当にありがとうございます。

## 高田エリア

生活支援わ-なっつ	0745-23-7214	地域活動支援わ-なっつ	0745-23-8105
マインドホーム高田	0745-23-8072	おかわり	0745-23-5625
えいぶる	0745-52-5752	あっとほ-む香芝	0745-44-8023

# あっとほ-む香芝 祝5周年 ~これからもワンチームで~

精神障害者の支援をする事業所として香芝市内で初めてできたあっとほ-む香芝（以下あっとほ-む）は、今年で5周年を迎えます！

開所した当初は、1日2~3人の利用しかなかったあっとほ-むも、今では登録者が20人を超え、毎日10人以上が来てくれるにぎやかな事業所になってきました。

メンバーにこの5年を振り返り感想を聞いてみました。「人が増えてにぎやかになった」「メンバー同士話せるようになった」「自分のやりたいことができるようになった」と話してくれました。職員は、この場所では『自分の意見を言ってもいいんだ』と思えてもらえるように、メンバーの声を大事にしてきました。

結果、「ビリヤード部」や「ごはん部」が出来、川柳などメンバーからのアイディアを基にした活動もたくさんやってきました。（詳しくはぜひホームページのブログをご覧ください）



◎ごはん部

開所当初、ある人がこんなことを言っていました。「あっとほ-むにたくさん人が集まるとなんかワクワクしません？」その言葉のように、今のあっとほ-むはワクワク感が一杯です。



◎馬見丘陵公園レク



◎ビリヤード部

「アットホームな雰囲気施設になった」こんな意見ができるほど、この5年で内職、地域イベント、部活動など様々な活動を通して、メンバー同士の輪が深まり、それぞれが生き生きとしてきたと感じています。

### 『第5回まちフェス』中止のお詫び

2020年2月29日（土）に開催を予定していましたが『第5回まちフェス』は、新型コロナウイルス感染症の拡大が予測されたため、参加者や出店者の健康と安全を第一に考慮した結果、やむなく中止とさせていただきます。

準備等でご協力いただいた関係者の皆様や楽しみにしてくれていた皆様には大変申し訳ありませんでした。

まちフェス実行委員会

檀原エリア

生活支援わが-びあほ〜と	0744-24-2020	地域活動支援わが-びあほ〜と	0744-24-2070
生活支援わが-いろは	0744-32-7753	ひなた舎	0744-32-7745
Pit八木	0744-21-5666		

現役の不動産屋さんが指南  
〜一人暮らしのすすめ〜

Pit八木 鍋パーティー ♪

毎年恒例の鍋パーティーを行いました。ミーティングで何鍋にするのかを話し合い、今年は、鶏塩レモン鍋とゴマ豆乳鍋になりました。鶏塩レモン鍋はみんな食べたことがなかったので、どんな味なのか興味津々!!

当日、朝からメンバー数人と職員で近くのスーパーへ買い出しに行き、いざ調理開始。野菜を切り、鍋を沸かしてスープづくりなどを一緒に行いました。

鍋が完成に近づくと、だんだんと美味しそうな香が広がり…(お腹がぐう〜♪)

鶏塩レモン鍋を不安に思っていた人も、「さっぱりしていて良い」「鶏肉とレモンが凄く合いますね」と大好評!!シメとしてゴマ豆乳鍋にはご飯、鶏塩レモン鍋にはラーメンを投入し、最後まで美味しく食べることができました。しかし、さすがにみんなお腹がパンパンになり、午後からの作業は、うとうとしている人がいたような…?

来年はみんなでどんな美味しい鍋が作れるか今からワクワクです☆



いつもみんなでわいわい!

三宅町保健福祉センター(通称:あざさ苑)で2月19日、磯城郡精神保健福祉講座が開催されました。

毎年、磯城郡3町(三宅・川西・田原本)が持ち回りで開催しており、今年三宅町が主催です。

当日は『一人暮らし』をテーマに田原本町で不動産業を営む『奈良ホームズ株式会社』代表取締役の森友和さんが、賃貸物件を探すための知恵を話しました。

精神障害者福祉に関する研修会で、不動産業を営む方が講師役になることはかなり珍しく、当日は障害当事者や家族、関係者など30人ほどが集まりました。

精神障害者が賃貸物件の契約を結ぶことは難しいと言われていています。確かに少なくない事例で、不動産業者に門前払いされたという話を聞きます。

ただ、森さんは「すべての不動産業者が、障害者を門前払いする訳ではない」と言います。ねらい目は、チェーン展開しているところではなく、地元の不動産屋。

ただし、ただ「貸してください」と訴えるだけでなく「不動産屋と協力体制を作ることが大切」だと森社長は話します。

なぜなら、不動産屋としては「貸したい」と思っている、入居後の生活が安定するのかが心配だからです。そのため、障害当事者が単独で不動産屋に行くのではなく、ぜひとも支援者と一緒に来てほしい、と言います。

障害当事者の間に支援者が入ることで、入居後の生活支援や不動産業者とのやり取りが円滑に進むのです。

親なき後、一人暮らしをするための住居が心配な人は少なくありません。それでも、森社長のお話から得られる教訓は「支援者と共に地元の相談できる不動産屋を開拓すること」です。

## 西和エリア

生活支援ゆめぽると・バル	0745-43-5541	地域活動支援ゆめまーぶる	0745-75-6545
らそら	0745-70-1577		

### らそらのお弁当～がんばっています！～

らそらの大切な仕事のひとつ、お弁当の配食。今回はその様子をお伝えします！



チラシもリニューアル

今年度は営業やお客様からのクチコミでたくさんの注文を頂くようになりました。

「今日はたくさんや～！」と嬉しくもバタバタした毎日が続き、調理に入るメンバーのシフトを増やしたり、個数を間違えないような配達表を

考えたり…試行錯誤を重ねてきました。さて毎日とはいうと…

#### 【お弁当作りは毎日充実】

ほかほかに炊きあげられたごはんを手際よくよそっていくメンバー。その横ではおかずをおいしそうに盛り付けるメンバー。「ごはんのおいしさが続くよう、中心をふわっと盛り上げて入れています」と工夫しています。

厨房に立つ栄養士は「あれもやって～これもやって～大忙しです！」

#### 【さあ配達へ！】

弁当ができあがると、次は配達。2人1組でいきます。近くへは徒歩でいきま



「いつもありがとうございます！」

す。「いつもありがとうの声に、すごくうれしい気持ちになります」とメンバーは話します。坂道が急な配達先へも「足はしんどいけれど、良い運動になっています！」

#### 【洗浄できれいに】

昼からはお弁当箱を回収し、洗浄の仕事が始まります。油污れもしっかり二度洗います。

終わった後は「お弁当の汚れと一緒に、自分の汚れもきれいにおとせました！」

### 【毎日楽しみなお昼ごはん】

そして私たちも、お昼ごはんはこのお弁当を食べています。



今日はハンバーグです

メンバーは「弁当を食べるととても体調が良くなってきて一番嬉しいです」。「お昼ごはんが毎日楽しみです」と話します。このごはんのおかげで、らそらのみんなは元気なのかもしれません。

### セルフヘルプグループを体験！

～「安心して話せた★」～

まーぶるは、令和2年2月26日に西和7町自発的活動支援事業として2回目の「セルフ・ヘルプグループを学ぼう」研修会を行いました。

今回のテーマは「セルフヘルプグループの魅力を体験」。はじめにセルフヘルプグループの持っている力や、体験した方の声、アノニマスの意味などを学びました。その後、「ここで聞いたことは口外しない」「人が話しているときは黙って耳を傾ける」「人の話を非難したりしない」などのルールのもと、『言いつぱなし、聞きっぱなし』を行いました。

語るテーマは『自分の苦勞』や『自分の歴史』など、自分が話したいテーマを選択し、それぞれが自分の気持ちや体験を語り合いました。

参加者からは、「現状の悩みを安心して話すことができた」「グループを体験したが、意外とよかった」「自分の考えが



仲間と話すことの効果を実感！

まとまった」など、お互いの体験を交換することでの変化を体感していました。

## 2019~2020年度 萌 中途・新任者職員紹介 どうぞよろしくお願ひします。



**橋村 ほのか** (はしむら ほのか) 配属先：地域活動支援センターまーぶる

こんにちは。私は、地元である奈良県が大好きです。なので奈良で精神保健福祉士として働けることがとても嬉しいです。萌での経験を通して、この奈良県を誰もが安心して暮らしやすい地域にしていけるように、また私自身も成長していけるように頑張りたいと思います。まだまだ分からないことばかりで、色々教えて頂くことも多いと思いますが宜しくお願い致します。



**西山 実咲** (にしやま みさき) 配属先：地域活動支援センターコスモールいこま

初めまして。4月からよろしくお願ひします。福祉の仕事に就きたいと考えていたので、萌に入職することになり嬉しいです。萌では、メンバーさんと伸び伸びと日々を過ごしていけたらと思います。少しずつですが、勉強をさせていただきながら、焦らずに頑張っていきたいです。趣味は、旅行に行っておいしいものを食べることです。社会人1年目で不安や慣れない事もありますが、どうぞよろしくお願ひ致します！



**中島 裕加** (なかじま ゆか) 配属先：ホームヘルプステーションさくらんぼ

今年1月より入職させていただいております。以前は高齢者の施設に勤務しておりました。萌の仲間入りができ、大変嬉しく思っております。経験を活かして頑張りたいと思いますので、ご指導ご鞭撻宜しくお願い致します。



**具志堅 いづみ** (ぐしけん いづみ) 配属先：生活支援センターなっつ

初めまして、昨年7月に入職いたしました。生まれも育ちも沖縄です。昨年奈良県に移住し、初めての寒い冬を経験し、1つ成長した気がします。奈良県のことをもっと知りたいので興味津々で過ごしています。職員やメンバーさんに、地域のことを教えてもらうことが多いです。出会った方に不思議な質問することがあると思いますが、暖かく教えてくれると嬉しいです。目標は、日々穏やかに過ごすことです。よろしくお願ひします。



**下村 美里** (しもむら みさと) 配属先：生活支援センターぼると・ベル

私は大阪市阿倍野区出身で、中・高時代は吹奏楽部でバリトンサックスを担当していました。大学卒業後、神戸にて知的障がいや発達障がいの方々の支援に携わる仕事をしてきました。去年4月に神戸から香芝市に引っ越しをしてきました。萌には昨年10月から非常勤で勤務しています。初めての奈良県、初めての精神保健福祉分野でようやく慣れてきたかなと感じています。これまで培ってきたものをさらにバージョンアップできるようにがんばっていきます。みなさま、今後ともよろしくお願ひいたします。



**杉本 智可** (すぎもと ちか) 配属先：おかわり

昨年11月から入職し、おかわりで働いています。福祉職から離れていた時期がありましたが、縁あって数年前より、再び福祉の仕事に携わることになりました。支援をさせていただくことは、容易なことではないと何年経過しても感じますが、萌の理念にもあるように「誰もが生き生きと自分らしく暮らせる」そのお手伝いを微力ながらさせていただけたらと思っています。今後とも宜しくお願い致します。



### 職員処遇改善の取り組み

2019年10月の障害福祉サービス報酬改定において、新たに「特定処遇改善加算」が創設されました。

福祉人材不足、他業種との賃金格差の課題がある中、福祉人材の確保、定着につなげるための国施策のひとつです。この加算を取得するには、研修実施など支援の質の向上、労働環境の改善への取り組みなどの要件を満たす必要があります。

萌はその要件を満たし、2019年12月からこの加算を取得し、2020年2月から法人全職員の処遇改善(賃金改善)を実施しています。しかし、加算の対象となる障害福祉サービスが限られているため、加算額だけでは賃金改善ができません。そのため、賃金改善に必要な額の一部を法人持出しとして実施しました。

今回の取り組みだけでは、まだまだ十分な改善とは言えない状況です。今後も支援の質の維持向上、人材定着をより図るために、引き続き処遇改善の取り組みを進めていきます。

ライク通信

なら西原就業・生活支援センターライク 0743-85-7702

さくらんぼ便り

ホームヘルプステーションさくらんぼ 0743-54-0800

共に勉強し、支援の質を高め合う

ハープ東生駒さんと記録についての勉強会を一緒にしました。

日常業務になっている記録について、以前ライク内で業務指針検討会を行った際に共有した『支援の質の担保のため』『公的文章として』という記録の役割・目的と、書き方のポイントなどを一緒に確認しました。

意見交換の場では「記録を書くが見直す機会がなかなか取れない」「仕事だけでなく、生活の場面の話もどこまで記録したらいいか迷う」など日頃感じていることをざっくばらんに話し合いました。

事業の形態によって提供しているサービスは違いますが、大事にすべき部分は共通していることを確認しました。自分たちも改めて記録について考え、学ぶ機会になりました。

精神障害者介護ヘルパー研修

ハートランドしぎさん院長の徳山明広医師を講師に迎え、王寺町地域交流センターでヘルパーを対象とした「精神疾患の基礎知識～統合失調症・双極性障害について～」の研修会を開催しました。

コロナウィルス感染を危惧して欠席が相次ぐのでは、という懸念もありましたが、マスクと手指消毒液を用意した受付に続々と参加者が。

外部事業所から11名、法人内事業所1名、さくらんぼ在籍18名の熱意あふれる支援者が集まりました。具体例や先生の体験談などを交えた解りやすい内容で、もっと知りたい、もっと聞きたいと感じた2時間でした。

病状を理解する一方で、健康な面に着目しながら生活を支えることを胸に、これからも心を込めた支援を届けていきます。



★萌風香の購読★

萌風香は年4回1500部ずつの発行です。皆様のお手元に届いた後、萌の事業所利用者以外の方で「引越して住所が変わった(住所変更)」「次からは送ってもらわなくても結構です(購読中止)」という場合、お手数ですが必ず編集部ひだまり(0743-85-4196)までご一報くださいますようよろしくお願いいたします。

▽萌 後援会からのご案内

萌後援会は「社会福祉法人萌」の活動を支援していただける皆様を募集しております。

主な目的は萌フェスタをはじめとした事業の支援や寄付を行なっています。

会費の納入及び寄付の受付口座は郵便振替 社会福祉法人萌後援会

00920-4-221824 後援会事務局(萌総務部内)

0743-54-0821 (大東)

▽ハートフルこおりやま 精神障害者の社会参加をすすめる会

「障がいのあるなしに関わらず、誰もが住みやすい街づくり」をすすめる当会では、会の趣旨に賛同頂き、活動に協力して下さる会員さん・ボランティアさんを大募集しています!!年会費は1口500円(2口からお願いします)です。

連絡先:会事務局 ふらっと内 0743-54-3977 (桑原)

▽生駒精神障がい者後援会 ひだまりクローバー

生駒市の施設を利用する精神障害者への財政的支援(交通費など)と、啓発活動(トーク&ライブひだまり、こころの市民講座など)をしています。

年会費 一口2000円から。新規会員募集中!

連絡先:コミュニティスペースはなな内 0743-73-1050 (佐藤)

新型コロナウイルスの影響で、各例会の開催が中止・延期など変更されています。詳しくは、下記の各団体・お問い合わせ先にご確認ください。

家族会の情報

詳細は まほろば会(NPO 奈良県精神障害者家族会連合会)

TEL:090-9213-2731 FAX:0742-51-5506 https://nijironokaze.jimdo.com/

Table with 6 columns: 名称, 月例会, 時間, 場所, 問い合わせ先, 電話番号. Rows include さくら会, ひだまり会, 西和家族会, すみれ会, のぞみ会.